○年度　**保育所経営計画**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○保育所長　○○ ○○

**経営の理念**

人間として生きるための基礎を培う重要な乳幼児期に、

一人一人がよりよく生きる力を身に付けられるようにする。

**子どもも 保護者も 職員も　笑顔あふれる保育所**

**☆**【様々なことに心を動かし、心豊かな乳幼児を育成する保育の展開】

**◆**【資質向上を目指し、意欲的に経営に参画する職員の育成】

**◎**【地域に愛され、保護者に信頼される保育所】

**保育目標**

**目指す子ども像**　○元気で明るい子　○よく考え行動する子　○心情豊かな優しい子

**○年度の保育目標を達成するための重点目標と具体的な方策**

**☆様々なことに心を動かし、心豊かな乳幼児を育成する保育の展開**

**①乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実を目指す**

・子ども一人一人の個性や発達に即した多様な経験を重ねる中で、充分に自己を発揮して遊ぶ喜びや達成感を味わい、自信をもって行動できるように環境を構成する。

・基本的な生活習慣や健康・安全に対する態度の育成を図る。

**②多様な人と関わる活動を多く取り入れ、人と関わる力や思考力の芽生えを培う**

・ 園内外の人と関わる機会を保育の中に多く取り入れ、人に対する信頼感や思いやりの気持ちを育む。

・子ども同士が共同して取り組む経験を重ね、思いや考えを素直に表す、相手の話を聞く、受け止めるなどの体験を通してお互いを認め合い大切にする心を育てる。

**③豊かな心情をもつ乳幼児の育成を図る**

・様々な人や物、自然との関わりの中で、不思議さや自分の思い通りにならないもどかしさ、生命を尊重する心や思いやりの気持ちなど、多様な感情体験ができるように保育を展開する。

・自然の事象や身の回りの出来事など、子どもが心を動かしている機会を逃さず捉えて、保育者が共感したり言葉で表現したりして、子どもが心を動かしていることを存分に味わえるような援助をする。

**◆資質向上を目指し、意欲的に経営に参画する職員の育成**

**①乳幼児の姿を見取り、確かな成長を促す指導の工夫を図る**

・子ども一人一人の特性に応じた指導ができるようにするため、各クラスや年齢の職員同士が子どもの発達課題を共有し、日々のねらいに合わせ、役割の取り方を伝え合いながら保育に臨む。

**②励まし、協力し、高め合う職場環境をつくる**

・職員相互のコミュニケーションを図り円滑な人間関係を築く。

**◎地域に愛され、保護者に信頼され、ニーズに応える園づくり**

①子どもの育ちや乳幼児期の保育・教育への理解を深める機会をつくり、家庭との連携を強化し子どもの健やかな成長を支援する。

②児童館など地域の関係機関との連携を生かし、園と家庭、地域社会がそれぞれの力を十分に発揮し合って乳幼児の育成に当たれるような方策を保育所がリードして進める。